

大地震の被害を受けた家族への支援

ネパール大地震被災者緊急救援報告書

第1次支援：テントと医薬品などの提供

2015年5月～8月



作成：SAGUN

地球の木への報告書

報告書題名：ネパール大地震被災者緊急救援報告書

第1次支援：テントと医薬品などの提供

作成者：カマル・フヤル SAGUN 理事・事務局長

作成日：2015年9月

発行：地球の木

著作権：© 2015 SAGUN、地球の木

目次

背景	1
事業の目的	1
実施した主な活動	3
対象となった家族	3
配布の方法	3
配布された物資の数量	4
主な所感	5
会計報告	6
協力者への謝辞	6

背景

ネパールは2015年4月25日と5月12日に、それぞれマグニチュード7.8と7.3の大地震を経験し、現在も余震が続いている。8,900人以上の命が失われ、22,493人が負傷した。これらの地震はSAGUNが活動している行政村、マンガルタール村、ポカリナラヤンスタン村、カルパチョーク村、シパリチラウネ村、ウォルティング村、そして周辺の地域にも深刻な損害を与えた。状況調査によると、この地域の98%の家屋が損壊し、使用できなくなったことが確認されており、マンガルタール村及び周辺の行政村に仮設シェルターを提供する支援が緊急に必要とされている。

前述の損害の結果、この地域のすべての住民が数週間、そしてその後も引き続き、屋外で生活し、煮炊きをせざるを得ない状況を強いられている。平坦な場所が限られているため、傾斜のある農地や荒廃地に住む人もおり、健康被害を被っている。さらに、屋外に暮らすことはたいへん高い危険性を伴う。テントが不足しているのは明らかで、中古のテントが手に入ったとしても、雨や日差しから身を守るには充分ではない。地面から上がってくる湿気が身体に及ぼす影響も深刻な心配事である。

地震後数日間、この地域には公的・私的な援助は一切なかった。カブレ郡の長官と情報交換した際、政府からの援助が到着するには時間がかかりそうなので、ただちに支援に入ることが可能なボランティア団体があれば、すぐに入るべきだと勧められた。さらに、このような活動に対し、長官自身も協力すると意志表明してくれた。このようにしてSAGUNは、カナダのNGOであるCECI、日本の地球の木やPHD協会などへカブレ郡の、主にマンガルタール村とその周辺の行政村の状況を知らせた。

SAGUNは、CECI、地球の木、PHD協会やその他個人の協力を得て、マンガルタール村、カルパチョーク村とその周辺の行政村における「緊急救援活動」を開始した。すべての活動は、SAGUN-マンガルタール協力委員会（SMCC-*訳者注：SAGUNと村を代表する委員たちで作っている委員会）、地域の政党代表者や学校の教員、地域の社会活動家たちと、常に情報交換を交わしながら実施された。同様に、郡災害救援委員会（DDRC）や郡の政府関連機関とも常に連絡を取り合いながら計画を立て、実行した。

事業の目的

被災家族に適切な支援を提供するための活動を決めるにあたり、SAGUNのメンバーは郡の関連機関、地域のステークホルダー（利害関係者）、被災した家族の人たちと、一連の会議を開いた。その結局、SAGUNは以下の目的を伴った緊急支援事業を開始することになった。

1. 支援する緊急物資について、DDRC、行政村、対象家族と調整をする
2. 大型防水シート、救急医薬品、衛生キットを対象地域の被災家庭に配布する
3. 心理社会カウンセリングのプログラムを被災者に対して実施する
4. 被災家庭との定期的な会合を持ち、「悲しみや問題点」について分かち合う

実施した主な活動

被災家族のために以下の支援を行った。

1. 防水シートの配布
2. 衛生キットの配布

3. 救急医薬品の配布
4. 心理社会カウンセリングの企画
5. 若者ボランティアの活用

対象となった家族

地域の関係各者との話し合いの結果、SAGUN は各活動に対し対象家族を以下のように設定した。

1. 防水シートの配布
 - 4 行政村（マンガルトール村、カルパチョーク村、シパリチラウネ村、ウォルディング村）内のすべての家族に 1 枚ずつ、そして被害の大きかった他の村の家族に配布。しかし、他の団体から提供を受けている家族には SAGUN からは配布しない。
2. 救急医薬品の配布
 - 4 行政村の各「女性地域保健ボランティア（FCHV）」に救急医薬品キットを 1 箱。
3. 衛生キットの配布
 - 以下の条件に当てはまるすべての家族に衛生キットを配布する
 - ・ 5 歳以下の幼児のいる家庭
 - ・ 70 歳以上の人だけで暮している家庭
 - ・ 妊婦がいる家庭
 - ・ 身体障がい者のいる家庭
4. 心理社会カウンセリングの企画
 - ・ すべての学校の教員（リソースパーソンとして育成するため）に対して行う
 - ・ 精神的な影響を受けているすべての人（必要性のある人）に対して行う
 - ・ 4 行政村の 5 つの地区で、集団カウンセリングを行うための文化プログラムを実施する
5. 被災家族との定期的な交流
 - 様々な村を定期的に訪れ、被災者の「悲しみ」を分かち合う

配布方法

1. 防水シートの配布
 - ・ 村人たちの利便さを考慮し、村まで運搬した
 - ・ 各行政村に 5 つの場所を設定した
 - ・ 配布後、受け取った家庭の署名をもらった
 - ・ SAGUN は若者ボランティアを活用した（この活動に 14 人の若者が参加した）
2. 救急医薬品の配布
 - ・ 4 行政村から各 9 人、合計 36 人の女性地域保健ボランティアがナルケ地区の現地事務所に集合した
 - ・ すべての保健ボランティアに救急医薬品のパックが渡された
 - ・ すべての保健ボランティアに、衛生キットを被災者にの正しく配布する方法を伝えた
3. 衛生キットの配布
 - ・ SMCC が指定した 5 つの配布場所で配布した

4. 対象となった家族はこれらの配布場所でキットを受け取った
5. 心理社会カウンセリング
 - ・ 「心理社会カウンセリング」(救急カウンセリング)を行うためのトレーナーへのトレーニングが、マンガルタール村とカルパチョーク村の教員を対象に開催された
 - ・ 心理社会集団カウンセリングが、4行政村すべての地域で行われた

配布された物資の数

1. 防水シート

	行政村名	配布数
1	マンガルタール村	530
2	カルパチョーク村	446
3	シパリチラウネ村	237
4	ウォルティング村	284
5	ボカリナラヤンスタン村	134
6	カトウンジェ村	150
7	マヘンドウラジョティ村	50
8	ブダカニ村	16
9	バナクチョウル村	60
10	ガルティチャップ村	60
11	フォクシングタル村	60
12	メツチェ村	2
13	ドウンゲカルカ村	1
14	その他	16
	合計	2046

2. 衛生キット

	行政村名	配布数
1	マンガルタール村	441
2	カルパチョーク村	189
3	シパリチラウネ村	285
4	ウォルティング村	294
	合計	1209

3. 心理社会カウンセリング

A. カウンセリング・サービス

- ・ まず4回のトレーナー用トレーニングが組織され、23人の教員が参加した
- ・ トレーニングを受けた教員を通して、4つの行政村で1572人(女性612人、男性903人)に対して実施された

B. 文化プログラム

- ・ 4行政村の各地区にて文化プログラムが実施された

4. 緊急用医薬品

配布された緊急用医薬品パックには以下の医薬品が含まれた

	薬品名	単位 (mg)	量
1	パラセタモール (解熱鎮痛剤)	500	30 枚
2	パラセタモール (解熱鎮痛剤)	100	10 枚
3	ジーバンジェル (電解質補給用)	0	50 袋
4	ベタディン液 (消毒液)	200ml	5 本
5	ベタディン軟膏	100	5 本
6	カターモール	500	3 巻
7	包帯/ガーゼ	—	5 袋
8	Rx テトラサイクリン系抗生物質	—	20 本
9	めまいの薬	10	
10	ドクターテープ弾力包帯		2 巻
11	ビニール手袋		100 パック
12	生理用品		5 巻
13	Re-cold		5 枚

主な所感

被災した家族や関係者は、SAGUN が提供した配布物資や他のサービスについて、以下のような感想を述べた。

1. 地域のリーダーや被災家族の代表者は「地震直後に SAGUN の人たちが来てくれてとても嬉しく思った。さらに、配布された物資はすべて、SAGUN と地域の人たちの話し合いで決められたことを大変嬉しく思う。」
2. 村の人々は SAGUN によって配布された防水シートは他の援助によるものよりも品質が良いことがわかった。
3. 「衛生キット」の配布時に使用された対象者の基準は適切であり、実際のだった。被災家族と地域の関係者のみんなが感謝している。
4. 衛生キットは地震によってもたらされた影響に対応するのに大変役に立った。
5. 心理社会カウンセリングのトレーナー用のトレーニングに参加した教員たちはこの研修を評価し、教員生活の中で受けた研修の中で最も優れたものだったと述べた。また、村の人たちが精神的なトラウマを解決するのに役立ったとも述べている。さらに、このトレーニングは将来的に自分たちの教育方法を効果的にするのに役立つ可能性があるとも述べている。
6. 村の人々は保健ボランティアに提供した「救急医薬品」に対し、被災者に大変役立ったと感謝の気持ちを表している。
7. 若者のボランティアを活用したことで、時間通りかつ効果的に、一連の仕事を完了することができた。また、カトマンズの若者と村の若者の絆を強化するという効果もあった。

会計報告

A. 総費用

	活動・備品	量	単位	合計額
1	防水シート	2046	2643.43	5,408,467.00
2	衛生キット	1209	1539.35	1,861,080.00
3	心理社会カウンセリング			680,000.00
4	医薬品パック	36	10,000.00	360,000.00
5	物資運搬費			375,000.00
6	ダダパリ村への防水シート支援	85		224,691.00
7	ボランティア活用、通信費、 交通費、管理費			383,396.00
8	諸経費（家賃、光熱費など）			252,342.00
	合計			9,544,976.00

B. パートナー団体の貢献

	団体名	金額
1	CECI	8,255,480.00
2	地球の木	421,419.00
3	PHD 協会	1,001,577.00
	合計	9,678,476.00

協力者への謝辞

地球の木はじめパートナーの皆さんが、ネパール大地震の被災者に心のこもった支援を差し伸べてくださったことに対し、SAGUN はここに深い感謝の意を表します。



地震発生後3日後に現地に入る 図書室が使用不可に

村の人たちと対策を練る



テント用の防水シートを全戸に配布



シートを使った仮設の住まい



大切な家畜も保護が必要



保健ボランティアへ医薬品を配布



衛生キットは災害弱者に配布



カトマンズの若者ボランティアも活躍



sagun
a search for harmony

P.O. Box 7802, Kathmandu
Phone : 4-247920/4-229544
Fax : (977-1) 4-229544
Email: sagun@harmony.wiink.com.np



特定非営利活動法人 **地球の木**

Website <http://e-tree.jp>

〒231-0032 神奈川県横浜市中区不老町1-3-3 フェニックス関内2F

TEL 045-228-1575

FAX 045-228-1578

E_mail chikyunoki@e-tree.jp

f <http://www.facebook.com/chikyunoki> Facebookでの「いいね!」をお待ちしています。

地球の木は認定 NPO 法人です。地球の木へのご寄付は所得税等の控除の対象となります。